

平成29年度第2回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 平成29年11月9日(木) 午後2時～午後3時25分
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階保育室
- 3 出席者
 - (1) 委員 太田直美委員長 浜口貞美委員 伊藤眞由美委員
渡辺みどり委員 滝本はる恵委員 樋口美佐子委員
斉藤日出雄委員 溝谷さち恵委員
 - (2) 事務局 青木生涯学習推進課長 小林図書館長
橋本主査補 小林(再任用)
- 4 傍聴人 なし
- 5 議題
 - 図書館利用者アンケートの調査結果と図書館サービスについて
 - ・平成29年3月に実施した図書館利用者アンケートの調査結果における図書館サービスの課題と今後の取組みについて
 - ・平成30年度図書館事業計画への反映について

【審議内容】

委員長 まず、会議の議事録署名委員は、樋口委員と渡辺委員にお願いします。それでは、議題の図書館利用者アンケートの調査結果と図書館サービスについて、1点目の平成29年3月に実施した図書館利用者アンケートの調査結果における図書館サービスの課題と今後の取組みに関して事務局より説明をお願いしたい。

事務局 ……配布資料に基づき説明……

委員長 ただ今の説明に関して、さらなる図書館サービスの向上を図る視点からご意見をいただきたい。

委員 アンケートの自由意見の中に、借りた本を返却できる場所を増やしてほしいとのご意見とともに、道野辺中央コミュニティーセンターへの返却ボックスの設置要望があったが、図書館本館や分館との距離もあり検討する余地があるのではないかと。

事務局 返却ボックスを新たに設置することは可能だが、毎日、本の回収に当たらなければならないことから現行の予算で対応していけるのが課題である。

- 委員 返却時の利便性よりも借りる時の利便性を向上させていくべきではないか。予算との兼ね合いで、優先順位をつければよいと考える。
- 委員長 ただ今の借りる方の利便性に関してサービスの向上を図る視点から良いご意見があればお願いしたい。
- 委員 図書館のホームページを利用しているが、検索システムが他市と比べてあまりよくない。また、アンケートのご意見の中に、図書館本館に設置されている検索機を分館にも設置してほしいとのご意見があったが、ぜひ取組んでいただきたい。
- 委員長 この検索機は、現在何台設置されているのか。
- 事務局 図書館本館に2台設置されているが、分館には設置されていない状況である。
- 委員長 インターネットによる検索システムの利便性向上に向けた取組みと検索機の分館設置に関するご意見に対して事務局の見解をお願いしたい。
- 事務局 平成31年1月を目標に、新しいシステムへの更新を検討しているところである。検索機については、本館1台、分館1台の計2台を増設していきたいと考えている。
- 委員 どちらの分館に検索機を設置しようと考えているのか。
- 事務局 利用者の多い東部分館を想定している。
- 委員 本の検索上、図書館にパソコンを設置する計画はあるのか。
- 事務局 インターネットにつながるパソコンを設置したいとの思いはあるが、セキュリティ上の課題もある。現在、図書館では市役所のシステムに入って安全性の確保を図っているが、図書館独自のシステムを構築していくためには、新たな回線工事が必要となる場所である。
- 委員 スマートホンからも本の検索が可能なので、図書館の優先順位からするとパソコンよりも本の購入のほうが重要ではないか。
- 委員長 まずは蔵書とのご意見もあったが、いろいろな視点があると思う。図書館に何を求めるかニーズは多岐に渡るので、優先順位をつけながら取り組んでいただきたい。ほかにご意見があればお願いしたい。
- 委員 図書館に来館する子どもやお年寄りにとって初富交差点付近は、大変危険な状況にある。新京成線連続立体交差事業が進捗し初富地区が変わろうとしているときに図書館利用者やまちづくりの視点から、将来を見据えた図書館の姿に思いを描いていくことが大切ではないか。
- 委員 新京成線が高架になると初富交差点周辺の道路の拡幅も含めて考えていかなければいけない課題だと思う。
- 委員長 ただ今のコミュニティとしての図書館という大きなコンセプトに

対し、図書館だけではなく行政全体として考えていかなければならないところもあるので、こうした点を踏まえて取り組んでいただきたい。続きまして、議題の2点目の平成30年度図書館事業計画への反映について事務局より説明をお願いしたい。

事務局 平成30年度においては、アンケート調査のインターネット環境に関する調査結果を踏まえて、スマートホン対応の画面にするなどのホームページの更新、館内OPACの増設などに取り組んでまいりたい。

また、エレベーターのリニューアル工事に向けて設計委託を予定している。これらの事業については、平成30年度の予算が確定していないので、第3回図書館協議会で改めて報告させていただきたい。

委員長 ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見をいただきたい。

委員 図書館業務委託に関しては、平成30年度をスタートとする長期継続契約を締結することとなっているが、平成30年度の事業計画に絡んでくることはあるのか。

事務局 図書館業務の委託については、平成29年10月下旬に委託業者を内定したところである。平成30年度の事業計画については、委託業者の選考過程でのご提案に基づきながら具体化を図っていききたい。

委員長 議題については、以上としたい。

6 報告

○平成29年度先進館視察（荒川区立ゆいの森あらかわ）の結果報告

委員長 報告案件の平成29年度先進館視察に関して報告をお願いしたい。

委員 平成29年10月27日に、委員7名と事務局3名で荒川区立ゆいの森あらかわを視察した。平成29年3月にオープンした当該施設は、中央図書館、吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばという3つの機能の一つにした複合施設であったが、運営面ではあえて指定管理者制度を採用せず、直営によりゆいの森課という一つの部署で一体的な管理がなされていた。施設面では、館内のあらゆる場所に机と椅子が多く配置されていたことが特に印象に残った。そうした中で、他部署との連携企画等、日々新しい取り組みや改善を重ねている施設関係者の意欲の高さは素晴らしいものがあると感じたところである。また、当該施設建設の計画段階から区の企画部門が推進役となり、従来の図書館の既成概念にとらわれない施設にしていこうというビジョンのもとで建設がなされた結果、これまでの図書館では禁止事項とされていた「私語禁止」や「飲食禁止」といった項目をあえて設けない形で運営がなされていた。一つの建物において図書館機能や子どもの遊ぶ場

所、保育などの複合的な機能を持ち合わせ、あらゆる年代の区民がゆっくりと時間を過ごせる当該施設を視察して、箱もの行政とよくいわれるが、箱となる建物があってできることもあるのかなと感じたところである。

委員長 報告をお聞きして、視察先の施設も内容も素晴らしいと感じたところである。

委員 当該施設は、人と人・人と本・人と文化・人と地域、それぞれをつなぐこの施設でなければできないことをやっていくことをコンセプトとしていた。

委員 地震等の災害時に地域住民の避難所としての計画もなされていた。

委員 荒川区職員の上層部の図書館に対する強い思いが、建設計画やゆいの森課の設置にみられる運営面において大きな影響を与えたのではと感じられた。また、ゆいの森あらかわは中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろばからなる複合施設であったが、本市においても今後の初富交差点周辺の改良計画等により影響が出るであろうと想定される図書館本館や郷土資料館の将来構想を図書館協議会において話し合いを積み重ねていければとの思いがある。

事務局 現在市の公共施設計画では建替えの計画は無く、そうした中で施設の耐震化などの大規模修繕に取り組んでいるところである。そこで、今回の視察で委員の皆さんが感じられた点について、項目ごとにどこが大事なのか図書館側で落とし込みをしていくことにより、将来のビジョンが見えてくるものとする。

委員長 先進的なモデルを視察した中で、将来に向けた図書館に対してご意見をたくさんいただいたので、善処していただければと思う。

7 その他

委員長 ほかにご意見等があればお願いしたい。

委員 鎌ヶ谷市立図書館の業務は、平成30年4月より5年間の長期継続契約のもとで委託されるが、市教育委員会の上位計画に基づきながら図書館運営に関する市の方針を明確に指し示した上で委託事業者と業務を遂行していく必要があると考える。

委員長 ほかにご意見等があればお願いしたい。

委員 読み聞かせボランティアアドバンス研修会が年度内に3回開催されるので、よろしければ参加をお願いしたい。

委員長 それでは、以上をもって本日の図書館協議会を閉会とする。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成29年12月25日

署名人 樋口 美佐子 印

署名人 渡辺 みどり 印